

口永良部島

1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは2(やや活発な火山活動)でした。

2 概況

火山性地震はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発でした。

3 噴煙活動の状況

監視カメラによる観測では新岳・古岳からの噴煙は観測されませんでした。

4 地震・微動活動の状況(図2、図3)

- ・火山性地震の月回数は131回(5月:169回)とやや多い状態が続いています。
- ・火山性微動の発生はありませんでした(5月:2回)。
- ・地震の震源は、新岳付近のごく浅いところに分布しています。

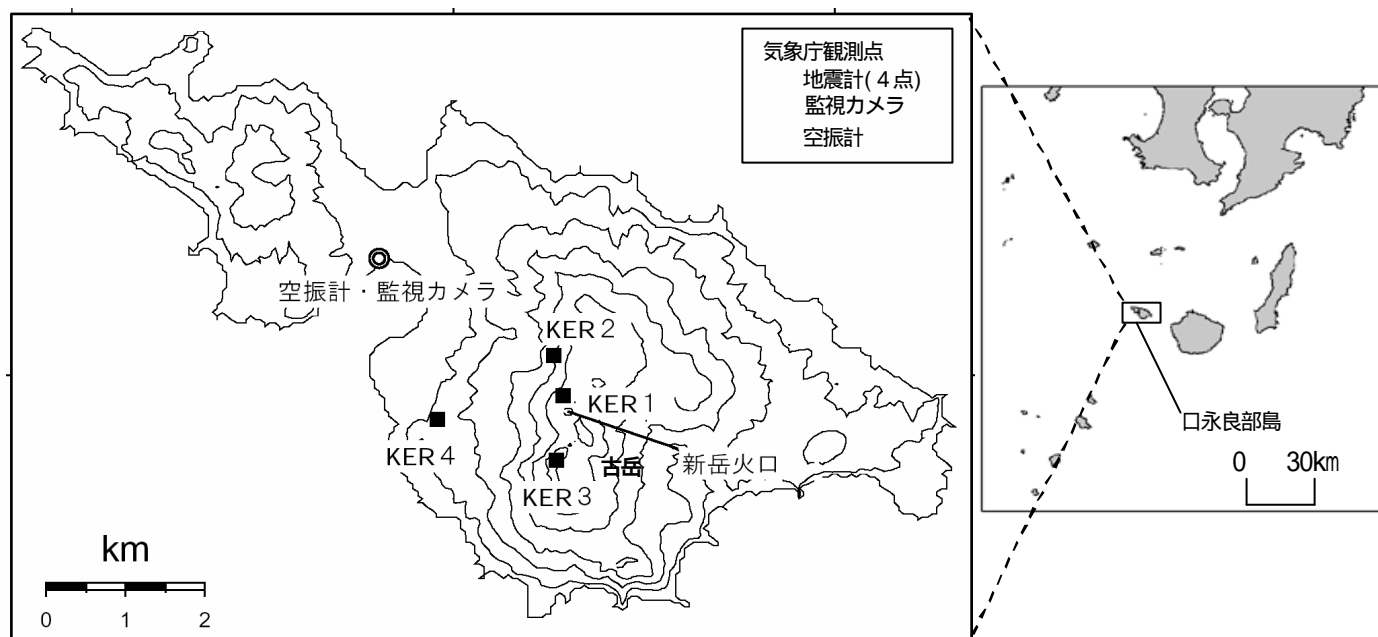
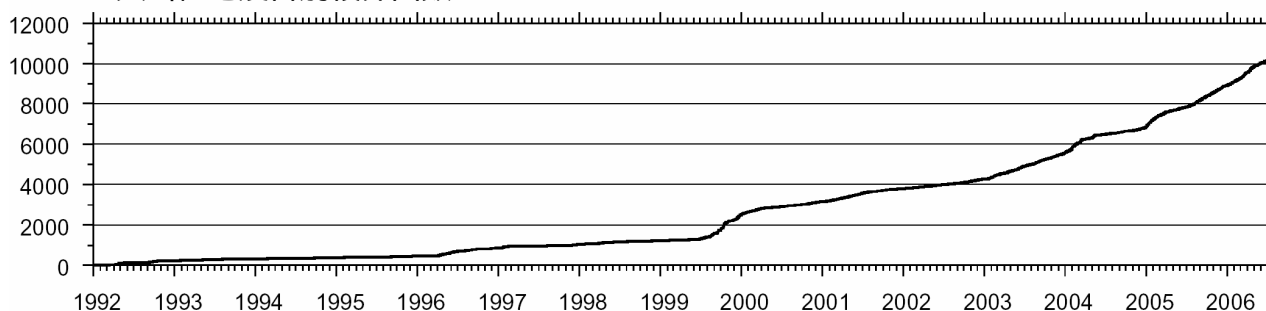


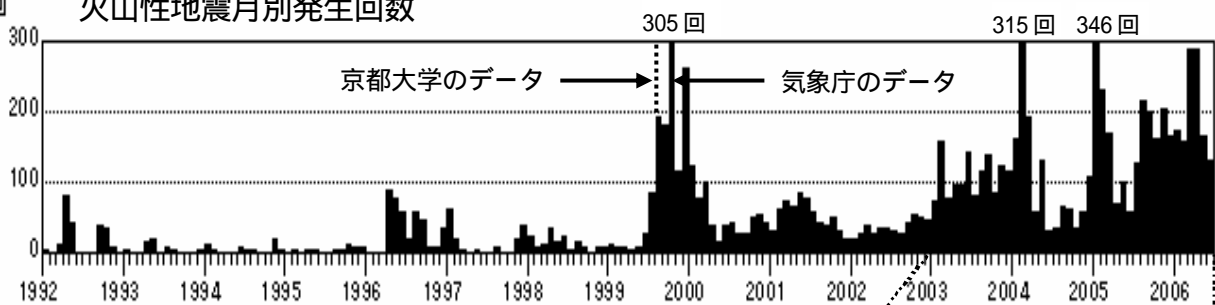
図1 観測点位置図

資料作成に当たっては、気象庁のデータその他、京都大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを使用しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

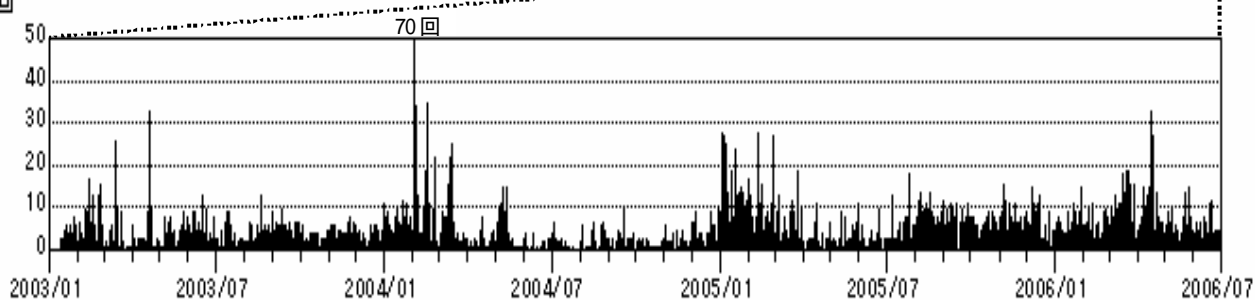
回 火山性地震日別積算回数



回 火山性地震月別発生回数



回 火山性地震日別発生回数



回 火山性微動日別発生回数

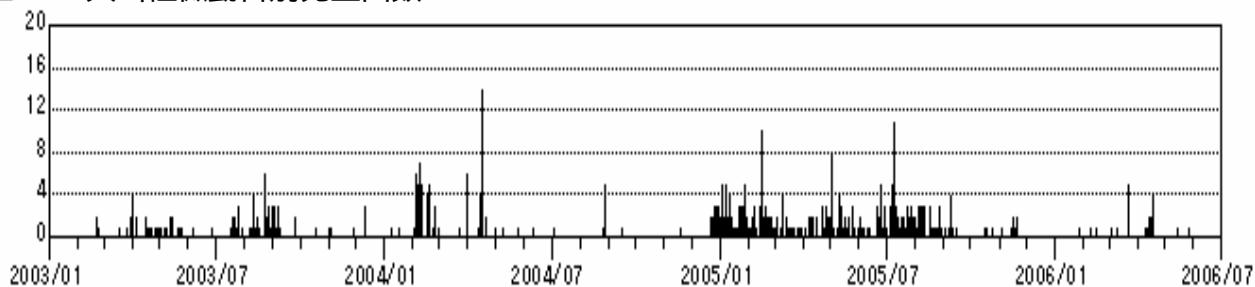


図2 火山活動経過図(1992年1月1日～2006年6月30日)

火山性地震は2005年7月以降やや多い状態が続いています。

火山性微動は、2004年12月以降やや多くなりましたが2005年9月から少ない状態で経過しています。

- ・ 1992年1月1日～1999年9月12日、2005年12月15～28日は京都大学が口永良部島に設置した観測点で計数したデータを使用しています。

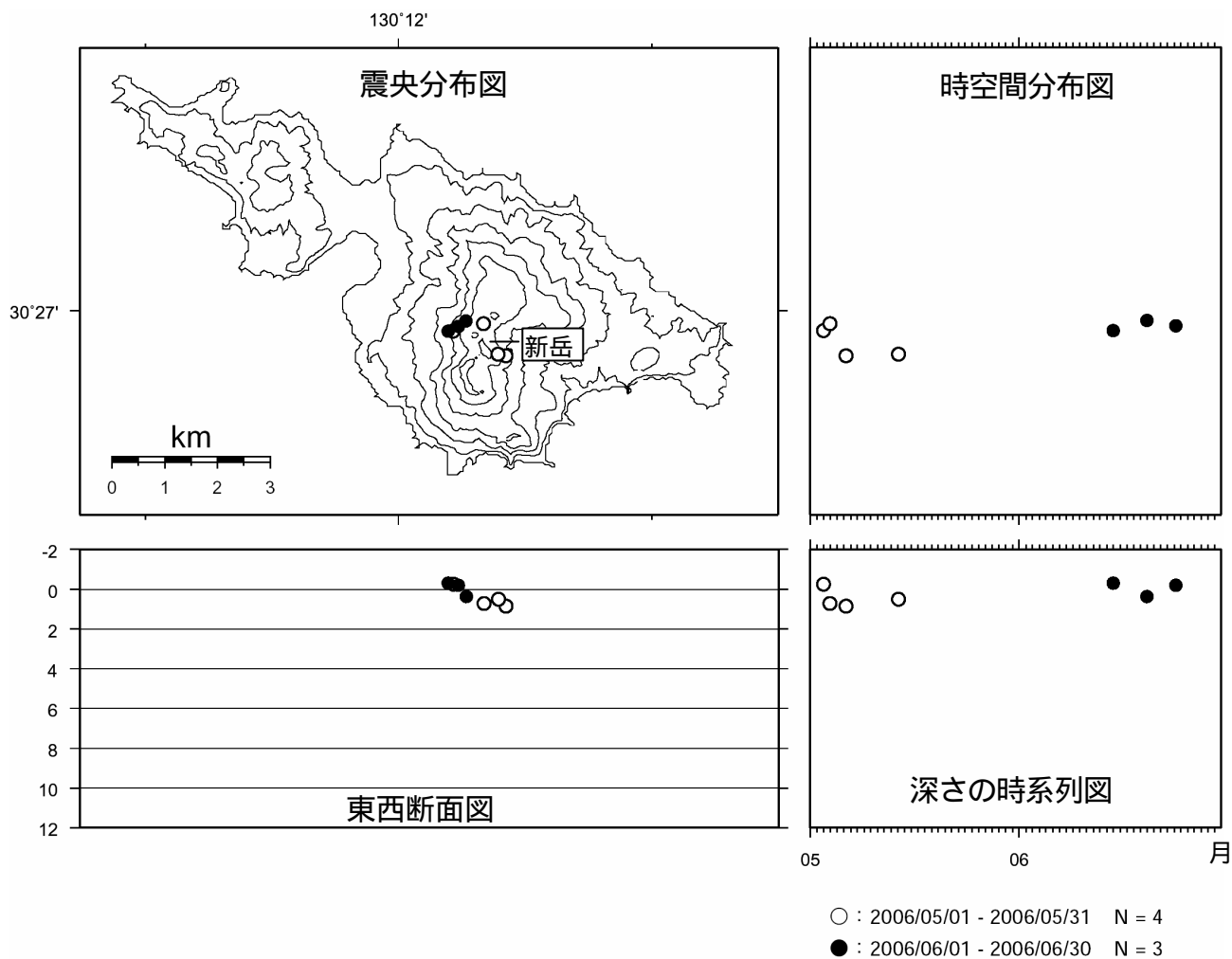


図3 火山性地震の震源分布(2006年5月1日～6月30日)
地震の震源は、新岳付近のごく浅いところに求まりました。